

国語科 授業シラバス

科目名	単位数（標準単位）	学科・学年・学級
古典B	2単位（4）	芸術科第3学年6組

1 学習の到達目標

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書 副教材	桐原書店『新探求古典B 古文編／漢文編』／浜島書店『巻頭増補版 最新国語便覧』／尚文出版『核心古文単語351』／尚文出版『新明説総合古典文法』／いづな書店『精説漢文』／尚文出版『新成古典（古文・漢文）』／尚文出版『新成現代文』

2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価規準	進捗状況
1	4	オリエンテーション	年間を通しての授業の流れを確認する。	・教材に関心をもって取り組んでいる。 【関心・意欲・態度】	1 学期中間 1 学期期末 考査
		説話 ○『宇治拾遺物語』 虎の鱧取りたること	比較的平易な説話を読んで、話のおもしろさを理解する。また、話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉える。	(関) 重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 (知) 接続助詞「ば」などの文法事項を理解している。	
		故事・寓話 ○梁上君子 ○先従隗始	比較的短い文章を読んで話の内容を理解することにより、漢文を読む楽しみを味わう。また、故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方について理解する。	(関) 平易な漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。 (知) 本文の寓意を正確に理解している。	
	5	随筆 I ○『徒然草』 ・これも仁和寺の法師 ・主ある家には	随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉える。	(読) 法師の軽はずみな行動とその後の騒動からうかがえる人間の滑稽さを理解している。 (知) 助動詞「けむ」「らむ」などの文法事項を理解している。	
		古体詩 ○桃夭 ○行行重行行	さまざまなスタイルの漢詩を読んで、それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉える。	(関) 訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。 (読) それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。	
		物語と日記 ○『大和物語』 ・姨捨 ○『更級日記』 ・門出	物語と日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。また、歌物語における和歌の役割や、回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高める。	(読) 男の伯母に対する心情の推移に即して内容を理解している (読) 作者の物語への思いの深まりや惜別の寂しさなどを的確に捉えている。 (知) 和歌の修辞技巧を理解している。 (知) [門出]「なる」の識別などの文法事項を理解している。	

	6・7	史伝 ○『史記』 四面楚歌	歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝を読んで、その魅力を味わう。また、長文の漢文を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。	(読)「乃大驚」という項王の心理と「力拔山…」の詩に込められた心情を的確に捉えている。 (知) 漢文に特有な語彙について、その読みと意味を理解している。	
		歴史 ○『大鏡』 ・道長と伊周の競射	歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取る。	(関)の内容・構成の特色や、兼家・道長など主要な登場人物について調べたり発表したりしている。 (話)道長と伊周の人物像と道隆の心の動きを考察している。	
2	9	思想 ○論語(七章) ○老子 ・無用之用 ○韓非子 ・侵官之害	儒家・道家・法家の文章を読んで、それぞれの思想の概要と諸子百家における位置づけを理解する。また、それぞれの思想が現代においてどのような意義を持つかを考察する。	(読)指示語の対象や語句の対応関係に注意して、内容を的確に捉えている。 (知)諸子百家が登場した時代背景について理解している。	2 学期 中間 考査
		軍記 ○『平家物語』 ・先帝入水	軍記物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取る。また、「平家物語」について論じた現代の文章を読んで、「平家物語」の描写の特徴について考察する。	(関)源平の合戦をめぐる時代状況について調べたり発表したりしている。 (知)基本的な文法事項を理解している。	
	10	物語 ○『源氏物語』 ・若紫との出会い	長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。また、「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深める。	(読)尼君と周囲の人々のやりとりを的確に読み取っている。 (知)和歌の修辞技巧を理解している。	2 学期 期末 考査
	11	史伝 ○『史記』 ・廉頗と藺相如 日記 ○『蜻蛉日記』 ・嘆きつつひとり寝る夜	紀伝体の「史記」を読んで、史伝というジャンルへの理解を深める。また、長文の漢文を正確に訓読し、語句や句形を踏まえて現代語訳する力を養う。 日記を読んで、記された事柄や作者のものもの見方・感じ方を的確に捉える。また、和歌に込められた登場人物や作者の心情を読み取り、内容把握につなげる。	(話)廉頗と藺相如の人物像について話し合っている。 (知)「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解している。 (読)作者と夫兼家の心情のすれ違いを的確に読み取っている。 (知)本文を文法事項に即して現代語訳することができる。	
	12	長文読解 思考力・判断力・表現力の育成	・さまざまな文章を読み、国語の基礎力と応用力を高める。	(関)教材に興味をもって学習に取り組んでいる。 (読)・登場人物の行動と心情を読み取っている。 (知)語句の意味や文法、敬語の意味と用法について整理し理解を深めている。	学 年 末 考 査
3	1 2				
<p>【年間の評価】</p> <p>※定期考査の成績、課題提出物の提出状況や内容を評価します。</p> <p>※提出物の中でも、誤答分析レポート提出を重視します。</p> <p>【その他】</p> <p>※授業は、予習前提で進めます。古文の場合は、該当作品の古典単語調べ、品詞分解などを事前に行い、現代語訳にも取り組んでおいて下さい。漢文の場合も、事前に文章を読み、現代語訳に取り組んで下さい。</p>					

〈沖縄県立開邦高等学校〉

※副読本および古語辞典や漢和辞典などの辞書を用いる習慣を付けましょう。

※月課題を課します。また、月課題は夏までに終了予定です。

※各定期テスト後および必修模試後は、誤答分析レポートを提出してもらいます。

※授業内容に応じて、月課題の他にも課題を課すことがあります。

国語科 授業シラバス

科目名	単位数（標準単位）	学科・学年・学級
古典B	2単位（4）	芸術科第3学年6組

1 学習の到達目標

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書 副教材	桐原書店『新探求古典B 古文編／漢文編』／浜島書店『巻頭増補版 最新国語便覧』／尚文出版『核心古文単語351』／尚文出版『新明説総合古典文法』／いづな書店『精説漢文』／尚文出版『新成古典（古文・漢文）』／尚文出版『新成現代文』